

平成28年度第1回入札監視委員会議事概要

開催日時及び場所	平成28年10月20日(木) 海上保安庁会議室(11階)		
委員	委員長 尾花 真理子 :弁護士 委員 郷田 桃代 :東京理科大学工学部教授 委員 大橋 弘 :東京大学大学院経済学研究科教授		
抽出案件		<備考>	
工事	0件	委員会開催にあたり 委員長に 尾花 真理子 委員 を選任した。	
(小計)一般競争 公募型及び工事希望型指名競争 指名競争 随意契約	0件 - - 0件		
建設コンサルタント業務等	1件		
物品又は役務等	3件		
合計	4件		
委員からの意見・質問、それに対する海上保安庁の回答等	意見・質問 別紙のとおり		回答 別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし		

別 紙

委 員	海 上 保 安 庁
<p>1. 入札・契約手続の運用状況及び指名停止運用状況並びに入札結果等意見等なし</p>	
<p>2. 抽出事案の審議 <製造：一般競争契約> 「広島浮標基地標体修理（第6回）」（第六管区）</p> <p>競争性を確保するための方策として競争参加資格をC等級からD等級まで対象を広げたことにより、効果はあるのか。</p> <p>これら受注可能な業者は、灯浮標の修理以外にはどのような事業を行っているのか。</p>	<p>27年度では、5者の参加業者があり、C等級は1者、残り4者はD等級であり、等級を広げたことにより、効果はあったと考える。</p> <p>鉄工所等の業者であり、ほかには造船業などの事業を行っている。</p>
<p><役務：一般競争契約> 「深海用自律型潜水調査装置ほか1点整備」（本庁）</p> <p>保守を年間契約とすることは出来ないのか。</p> <p>装置の調達単なる物品の購入であり、総合評価にならないと思うが、一般競争入札内で将来の整備を含めた物品購入は可能か。特殊な機器を購入する際には、長年にわたり将来の整備費が出費されると思うが、全体の必要経費を下げるという観点から当初の機械の納入の際にどのように将来の出費を考えられているか。</p>	<p>整備内容が毎回同じであれば可能だが、実際にはどのような修理内容が発生するか分からない状況では困難である。</p> <p>装置購入時は購入価で決定されるが、購入価格だけでなく、保守経費についても検討は行っている。</p>

<p><コンサル：一般競争契約> <宮崎（部）浮棧橋連結設置工事設計業務>（十管区）</p> <p>施工場所である宮崎で測量及び建設のコンサル業者は何者いるのか。</p> <p>第十管区の資格を有していない業者は、どれくらいの期間で資格を取得できるのか。</p> <p>入札公告のホームページの掲載は、十管区のホームページのしか閲覧できないのか？</p>	<p>第十管区の資格を保有する宮崎県のコンサルの業者は、A等級8者、B等級28者いる。</p> <p>必要書類が整っていれば、申請から通知まで概ね1週間程度で取得できる。</p> <p>本庁のホームページから各管区の入札情報は閲覧できることになっている。</p>
<p><役務：随意契約> <主機関（MAND2842LE417型－東）等修理2式（追加2）>（第七管区）</p> <p>推薦業者はどういう基準で選んでいるのか。</p>	<p>海上保安庁では当庁の高速機関整備を希望する事業者に対し、設備や技術者等の技術的能力に関する技術審査を実施しており、その合格者から選んでいる。</p>
<p>審議の結果</p>	
<p>入札・契約手続きは概ね適切に行われている。</p> <p>なお、特殊な機械の調達の場合には、当初の調達時点で保守に係るランニングコストがどうなのか非常に重要なものであると思うので、今後の調達の際には、ランニングコストを詳細に詰め、後の保守も判断材料としていただければと考える。</p>	